



とうきょう すくわくプログラム

2024年度活動報告書

小平花小金井雲母保育園



テーマ【 言葉・異文化の探求 】

設定した理由・背景

講師の住んでいる外国や異文化について興味を持った子ども達の関心をさらに深めるため。

用意した環境設定

- ・ 関心を深めるため講師へ質問を事前に準備した。
- ・ パソコン・プロジェクター・スクリーン・絵本
- ・ カード

活動のあゆみ

2025年1月～3月 毎週水曜日

5歳児 14：45～

4歳児 15：05～

1月 違う言葉に出会う

2月 外国の先生に質問する

3月 外国の食べ物について知る

※探究活動の実績※

◆活動の開始

保育者：今、皆が話している言葉の他に知っている言葉はある？

子ども：英語知ってる。テレビで見た。リンゴはアップルだよ。

保育者：今度、英語を話す外国の先生がみんなと一緒にお話してくれたり遊んだりしてくれるんだって。

子ども：やってみたい。お話してみたい。

◆子ども達の様子、関わり

はじめは緊張して声も出ない子がいたが、一人ひとり自分の名前をよべるのはうれしいようだった。緊張もほぐれ、質問したいことをそれぞれ考え発言する姿も見られた。

食べ物について質問をした際、豚の丸焼きの写真を見せてもらい、驚きと興味を持つ様子があった。

英語の先生とのやりとりからこんな質問をしてみようと子ども同士で話し合いを行い、実際に先生に質問をしてみた。

◆終わりの時期の姿

自分たちで先生にどんなことを聞いてみようか、また他の子が知っている英語を自分も使ってみようとする姿があった。

言葉だけでなく食べ物や人に興味を示していたので様々な国についてを知れるよう探究活動を続けていきたい。



5歳児先生の話と画面を見て聞いている様子。



5歳児画面を見ながら音楽に合わせて動物の真似をしている様子



4歳児名前を呼ばれて返事をする様子

まとめ

最初は参加をしたがらない子もいるのではないかと考えていたが、戸惑いながらも楽しんで参加している姿が見られる。先生の好きな色や食べ物、動物などどんな質問をするか友達と考えたり、聞くことで自分のことを伝えようという気持ちを持てるようになってきた。

次年度は、新4歳児に楽しさを伝えつつ、更に異文化を知るところを深めていきたい。



とうきょう すくわくプログラム

2024年度活動報告書

小平花小金井雲母保育園



テーマ【 身近な自然の探求 】

設定した理由・背景

園の周囲には小金井公園やグリーンロードなど自然が身近なものになっている。感じたこと、気づいたことを言葉や言葉ではないもので表現することで子ども達の気づきを知る。

用意した環境設定

・画用紙・色鉛筆・学習ボード

活動のあゆみ

2025年1月～3月

1月 戸外活動（小金井公園等）

2月 戸外活動（小金井公園等）

3月 園庭の自然

①園庭の図からどのような自然があるか絵に描いてみる。

②描いた絵を説明する

③玄関掲示

✧探究活動の実績✧

◆活動の開始

公園で見つけたもの、気づいたことを職員に教えてくれたり、お土産に持って帰って来てくれている。みんながいつも遊んでいる園庭にどんなものがあるか気づいたことを描いてみよう。

◆子どもたちの様子、関わり

お花が咲いているよ（モクレン）などと子ども同士で話す様子があった。

モクレンの花が満開だったのでみんなで絵に描いた。友だち同士で滑り台の下にクローバーがあるよなど園庭の隅に咲いている花に気づいて伝え合う姿が見られた。

◆終わりの時期の姿、まとめ

お休みだったお友達に園庭にどんなお花が咲いていたか、絵を見せたり話したりして子ども同士で共有する姿が見られた。それを聞いて自分でも絵に描く様子があった。

同じ活動を繰り返し行うことで自然の変化が見つけやすくなり、子どもたちの気づきも深まっていくと感じた。



4.5歳児 園庭で絵を描いている様子



4.5歳児 書いた絵の説明をする様子



4.5歳児 小金井公園での戸外活動

まとめ

同じ活動を繰り返し行うことで絵の変化や気づき、自然への興味に関しても広がりを見せているのではないかと感じる。令和6年度は3か月と短い期間だった為、令和7年度は言葉ではないことでの伝え合いや表現をしたい。